

令和2年度村上地域区長会連絡協議会要望事項回答

1 空き家とその土地周辺対策について

市内には長期間、所有者不在の空き家、空き地があり、管理が行き届かず雑草が生い茂って荒れ放題となっている場所が見られます。観光地を標榜する村上市にとって見苦しく、また近隣住民にとっても、ゴミの不法投棄や害虫の発生元になる等、大きな問題となっています。

本件については、昨年度も同様の要望に対してご回答をいただいておりますが、現代的な課題であり今後も同様の課題を抱える町内等が増加すると想定されることから、一般論にとどまらず、地区の現状に即した市としての対応策など、より具体的な回答をお願いし、今一度要望するものです。

【回答】

空き家については「空家等対策の推進に関する特別措置法」、「村上市空き家等の適正管理に関する条例」及び「村上市空き家等対策計画」に基づき、所有者等に空き家や空き地の適正な維持管理に努めていただくよう助言・指導を行っております。

管理不全となっている空き家・空き地については、いただいた情報等に基づき現地の状況を確認したうえで、写真を添付した文書により所有者等に対応をお願いしております。また、空き家・空き地の利活用や処分につながるよう所有者等との相談内容に応じて、空き家等の売却、賃貸及び解体などについては空き家の所在地域に精通している宅建協会や建設業協会に相談し、敷地内の除草や清掃などはシルバー人材センターなどを紹介しております。

引き続き町内会と連携を図りながら空き家・空き地が適正に管理されるよう啓発や助言・指導を行ってまいります。

(問い合わせ先：市民課)

2 『みなとオアシス越後岩船』関連要望事項について

平成28年度に登録されました『みなとオアシス越後岩船』は岩船地区から瀬波温泉地区までの海岸線に位置し、「岩船港緑地」・「岩船港直売所」・「粟島汽船営業所」・「岩船港海岸（岩船海水浴場から瀬波海水浴場までの海岸）」をはじめ、すばらしい自然や多くの観光資源に恵まれており、地元でも各種イベントの開催や、昨年度緑綬褒章を受賞した一斉清掃などの環境美化活動にも力を入れております。

諸上寺公園は春には見事な八重桜が見られることから、桜の名所としても知られておりますが、頂上に設置されているトイレは老朽化し、道路沿いに植樹された桜の木も十分な管理が行われておらず枯れ始めた木も見受けられます。

トイレは観光振興の面からも、欠くことのできない施設でありますので建て替えを

要望するとともに、諸上寺公園が今後も桜の名所として、市民や観光客に親しまれるように、計画的な桜の苗木の植樹や下草の伐採など必要な維持管理を要望します。

また、『村上市スケートパーク』に隣接する旧市民会館は老朽化し閉鎖されておりますが、『村上市スケートパーク』のオープンにより旧市民会館一帯は観光においても地域内外の人々の交流の場としてもますます重要なスポットになりました。

そこで、旧市民会館跡地に新たな遊具を設置し『いこいの森児童公園』と一体化した家族が無料で楽しめるエリアとして、また、旧船員保険寮跡地及び旧村上市老人ホーム跡地に日本海を一望できる休憩所を整備するなど、岩船地区と瀬波温泉地区の賑わいを創出し、『みなとオアシス越後岩船』エリアにより多くの人を滞留させられるよう、土地の有効活用を要望します。

【回答】

諸上寺公園の桜に関しましては、新潟県森林研究所から指導を受け、折れた枝への薬剤散布や支障木の伐採の実施、また一部となりますが、下刈りを行うなど維持管理に努めております。既設のトイレは平成10年度に設置されたものであり、20年を経過しておりますが、トイレの建て替えや洋式化につきましては、公園全体の整備方針と併せて検討してまいります。

なお、緊急な修繕に関しては随時対応させていただくなど、今後も適切な維持管理に努め、皆様が快適にご利用できますよう努力してまいります。

また、旧船員保険寮跡地及び旧村上市老人ホーム跡地を含めた旧市民会館及びいこいの森児童公園一帯につきましては、ご要望にありますとおり瀬波温泉や村上市スケートパークと隣接しており、これらのエリア一帯を面として利活用ができた場合、瀬波温泉から岩船港までのエリアのさらなる魅力向上が期待できます。

一方でこのエリアには老朽化が進んでいる施設があり、施設の機能回復を図ることなど課題も多く、その対応を優先しなければならない状況にあります。エリア内には民間所有地もあり、市として利活用策を講ずることには制約がありますが、皆さまからのご意見を踏まえながら、民間活用なども含めて周辺エリアの活用を検討してまいります。

(問い合わせ先：環境課、観光課、生涯学習課)

3 環状3号線の早期開通について

瀬波温泉トンネルから先の環状3号線については、当地区ばかりでなく、他地区からも要望が長年にわたり出されており、村上市都市計画マスタープランの中でも広域幹線道路に位置付けられて、重要な路線となっております。

しかしながら、同路線に大きい影響を及ぼす村上総合病院が令和2年12月に移転・開院となります。昨年の回答では、県においては、松山バイパス全線開通を最優先に事業を進めているということで、国道345号瀬波温泉トンネル先線の事業化について

は現時点では目処が立っていない状況であるとのことでした。

この瀬波温泉トンネルから先の環状3号線について、平成28年6月に行われた第2回定例会の一般質問において質問が提出され、その時の市長の回答では「瀬波温泉トンネル先線の整備を行うことは、村上駅西地区や新築される村上総合病院などへの山北からの海岸線沿線地区や瀬波地区からのアクセスの向上、村上駅西地区内の移動の円滑化が図られるほか、村上駅周辺のまちづくりにおいても重要な路線であると考えられます。今後もこれまでおこなってまいりました通常の要望活動に加え、岩船郡村上市土木振興会からも強く関係機関へ要望活動を行ってまいりますとともに、整備手法につきましても県と連携を図りながら研究・検討を行ってまいります。」と答弁しています。また、令和2年9月開催の第3回定例会でも瀬波温泉トンネル先線の整備の質問があり、市長からは、「要望活動は行っているが、県からは松山バイパス全線開通を最優先に事業を進めているということで、国道345号瀬波温泉トンネル先線の事業化については現時点では目処が立っていない状況であるという回答を受けているが、引き続き要望していく」と回答しています。このことから市としても重要道路と位置付けているということで、環状3号線を事業化してもらい、実施年度などの事業計画を示す必要があると思われまます。

この懸案事項である環状3号線の早期開通に向けての事業化と事業実施年度の明確化を強く要望いたします。

【回答】

都市計画道路「環状3号線」につきましては、瀬波小学校方面からの街路事業は平成10年に完了しており、平成15年には瀬波温泉トンネルが開通して現在に至っております。

これまでの間、地域住民の方々をはじめ、市としても、県には強く要望活動を行ってきましたが、なかなか進展しない状況にあります。

今後は村上総合病院の開院に伴い、駅西側市街地が活性化され人や車の流れが変化するものと考えておりますので、市では実態把握のため県と協力して、特に影響を受けるとされる国道345号及び一般県道岩船港線等において交通量調査を実施しました。それらの結果を踏まえ、また今後の開発等の状況も注視しつつ、引き続き瀬波温泉トンネル先線の事業化について要望してまいります。

(問い合わせ先：都市計画課)

4 山辺里体育館（旧山辺里中学校体育館）の改修について

山辺里体育館は、昭和54年7月の建築から40年余りが経過し、スレート屋根の剥離や老朽化による雨漏り、外壁や鉄骨の腐食・劣化・ひび割れ、内壁の損傷・汚れ、そして床の劣化などが顕著であり、また給排水設備やトイレも利用できない状態です。

しかし、この体育館は地域内外のスポーツ愛好者の利用をはじめ、市内の各種団体

および工業団地をはじめとする事業所従業員など、子どもから高齢者まで多くの利用があり、令和元年度の実績は、利用件数 582 件、利用延べ人数 7,238 人となっています。

また、今年度はコロナ禍のため中止となりましたが、毎年 4 月に開催している山辺里地区敬老会の会場としても地域に親しまれている施設であり、東日本大震災の際には、救援物資の保管施設として利用されるなど、村上農村環境改善センターと一体となった地域の重要な拠点施設となっております。

したがって山辺里体育館は、山辺里地区及び村上市のスポーツ振興、協働のまちづくりの推進、そして地域の安全・安心な市民生活のためには、必要不可欠な施設でありますので、早急な大規模改修または改築を強く要望します。

【回答】

老朽化が進む山辺里体育館（旧山辺里中学校体育館）の修繕については、その都度、必要最小限の部分的な修繕にとどまっている現状です。

平成 25 年策定の「村上市スポーツ施設整備計画」では、廃校施設を活用している体育館については老朽化したものが多く、利用状況を見ながら可能な限り維持修繕を行い、多額な費用がかさむ場合は廃止も検討していくこととしています。

しかしながら、山辺里体育館は体育施設としてだけでなく、地域コミュニティ活動の拠点施設としての利用なども含め、地域にとって重要な施設であるとは認識しております。

現在、市内のスポーツ施設を含む、公共施設全般の施設整備・維持管理について検討を行っているところでありますので、その中で山辺里体育館の整備方針についても検討してまいります。

（問い合わせ先：生涯学習課）

5 国道 345 号線の改良工事について

岩ヶ崎地内の市道滝の前岩ヶ崎線と国道 345 号線の交差点を基点とする前後 100m の道路で積雪時の事故防止のため、高視認性区画線の設置をお願いします。

【回答】

ご要望の高視認性区画線の設置など冬期交通安全対策の実施については、10 月 30 日に行われた令和 3 年度県単事業要望ヒアリングの際に、地域からの要望として県にお伝えさせていただきました。

なお、ご要望の区間における道路改良事業については、今年度も引き続き県単事業で要望したほか、来年 2 月に予定している村上市県土木事業整備促進協議会の総会においても、県に対する協議会の要望事項のひとつとして、本市事務局から提案する予定となっております。

（問い合わせ先：建設課）